

## 平成28年度青森市民図書館協議会会議概要

- 1 日 時 平成29年3月22日(水) 15:00～16:30
- 2 場 所 市民図書館 8階会議室2
- 3 出席委員 西村勝文、工藤真奈美、倉内千恵子、大坂美保、中園裕、熊谷せい子、  
秋谷進、清藤正道  
欠席委員 川越浩司、秋元美香子
- 4 事務局出席職員 館長 若佐谷昭人、室長 工藤大輔、主幹 須藤裕二、主幹 村上泰子、  
主幹 時田裕之 主査 高橋明子
- 5 次第  
平成28年度青森市民図書館協議会  
(1) 開会  
(2) 会長あいさつ  
(3) 協議事項
  - ・平成29年度の青森市民図書館運営について
    - (1) 管理運営について
    - (2) 館内事業について
    - (3) 館外事業について
    - (4) 歴史資料室事業について
    - (5) その他
  - (4) その他
  - (5) 閉会
- 6 会議の概要

○協議事項 ・平成29年度の青森市民図書館運営について  
資料「協議事項 ○平成29年度の青森市民図書館運営について」により事務局から説明

### 質疑応答

主な質疑応答は以下のとおり

(委 員)

アウガに市役所の総合窓口等が設置されるが、図書館は今のまま場所の移動等はないのか。

(事務局)

今のまま移動等はない。

(委 員)

夏休み・冬休みの時期に開館時間が1時間繰上げられることで、人件費の負担やシフトのやりくり等が大変なのではないか。大学入試センター試験が無くなるので対応を考えてみてはどうか。

(事務局)

開館時間の繰上げによる経費面や勤務面での問題はあある。開館時間に関しては、今後、アウガに総合窓口が出来ることでアウガ全体が大きく変わるといこともああるが、今のところ、図書館の開館時間の変更についての予定はない。

(委 員)

アウガの商業スペースが閉鎖となったが、図書館は通常通り開館していることをわかっていない市民がい

るので、通常通り開館していることをお知らせして欲しい。

(事務局)

窓口等、館内にその旨掲示したいと思う。

(委員)

館外事業のうち「市民センター等への司書派遣」で実施しているおはなし会について、実施回数は年々増えているものの、参加人数が減っているのはなぜか。

(事務局)

祭日を除いて月1回の実施だが、場所によっては来ても1組というのが多かったりする。ホームページなどで周知して参加者を増やしたい。

(委員)

・ホームページ等の電子媒体による情報は意識している人でないと見ない。青森では、『東奥日報』に載らないと情報は広がらないことから、新聞等で市民図書館をPRできる連載を頼んでみてはどうか。

(委員)

広報は、表紙が良くなり、よく見るようになった。広報に記事を載せたら結構反応があった。

(事務局)

活用してみたい。

(委員)

館内事業のうち「資料収集・提供について」の国立国会図書館デジタル送信サービスについては、PRのポスターを貼っていても利用件数が少ない。利用されづらいのか。

(事務局)

資料は、図書館以外でも、ある程度はインターネットで見ることが出来るためと思われる。ただ、プリントアウトについては図書館でないと出来ない資料もある。

## 意見

・浪岡地区は、旧青森市とは異なり、歴史的に黒石や弘前との関わりが大きいという特殊性がある。弘前市立図書館は、歴史資料が充実しており、旧青森市を含めて浪岡に関するものも持っている。そこで、青森市民図書館が弘前市立図書館と連携・協力をしてみてはどうか。弘前市立図書館との違いを出し、市民図書館の特徴を出すための協力である。

青森は空襲で歴史資料はなくなっているが、人材はいるので、歴史資料の充実した弘前に対抗できるのではないか。弘前市立図書館の歴史資料を活用し、浪岡のみならず黒石の人も呼び込むような図書館づくりをやっていければいいと思う。また、県立図書館との役割分担も必要である。

・館外事業の学校支援は大変助かっている。移動図書館はまなす号に来てもらって、子どもたちが喜んだ。もう1台増やし、事業を充実してもらえたらいいと思う。

さらに、授業支援では、学校に職員が来てくれて、子どもたちが本好きになるようなすばらしい授業をしてもらえた。更に充実させてもらいたいと思う。

また、今年の7月か8月に図書館に来たら、甲田小学校の開校時の写真が展示されていた。地区の敬老会のときにその話をしたら驚かれた。そういうのを教えてもらえたら周囲に知らせることが出来る。

八戸にブックセンターが出来て、人が集まっているようだ。工夫次第で人は集まる。さまざまなアイデアを活かして取り組んでほしい。

・図書館で勉強したり、展示を見てきた生徒から話を聞くと、自習用の机が増えて、利用しやすくしっかり勉強できたとか、ヤングアダルトコーナーの充実ぶりを話していた。学校との連携が広がっていけばいいと思う。また、歴史トリビアの冊子が届くと生徒が喜んで見ている。出来る部分で連携していきたい。

・提案だが、新聞のチラシをスクラップしてほしい。これらは5~6年で立派な歴史資料となる。その際は、いつの新聞に入っていたかを記した上でファイルしてほしい。整理整頓しておけば宝物となる。

会議終了